

日本鐵鋼協會記事

◎理事會

大正九年十月二十二日(金曜日)午後五時より本會事務所に於て理事會を開く會議事項左の如し。

- 一、會誌寄贈の件
- 一、家屋修繕の件
- 一、入退會者に關する件
- 一、其他會務に關する件

當日出席者は左の諸氏なり。

香村 小録君 倭 國 一君 野呂 景義君
今泉 嘉一郎君 鹽田 泰介君

◎編輯會

大正九年十月二十二日午後五時より本會事務所に於て編輯會を開き會誌第六年第十一號の原稿を選定せり。當日出席者は左の諸氏なり。

室井 嘉治馬君 河合 匡君 堀 尙 靖君

◎講演會

大正九年十月二十六日(火曜日)午後六時半より本會事務所に於て講演會を開く。(講演速記は次號に掲載すべし)

一、鋼管製造の話

終つて左の活動寫眞を各位の觀覽に供せり。

今泉嘉一郎君

一、合衆國鋼鐵物產會社の鋼管製造に關する狀況

當日來會者は

香村 小録君 今泉 嘉一郎君 鹽田 泰介君
種子田 右八郎君 桂 辨 三君
其他約百四十名にして頗る盛會なりき。

◎入退會者

前號報告後入退會を承諾せられたる會員左の如し。

退會者 (住所及職業)

福岡縣鞍手郡直方町 鐵務所員	正員	西 牟 田 豐 民
大阪市西區幸町通	同	中國製鐵株式會社
神奈川縣町田村淺野製鐵所員	同	堀之内次郎左衛門
鳥取縣日野郡根田町近藤鐵業部員	同	松 尾 民 五 郎
吳海軍工廠砲煩部員	同	西 津 鷗 吉
東京市赤坂區新坂町八三	同	木 村 政 治 郎
八幡市前田	同	九州銑鐵株式會社
北海道室蘭日本製鋼所員	准員	三 島 三 藏
下關市觀音崎町	同	安部幸兵衛商店下關支店
東京市小石川區大塚坂下町一七〇	同	寺 田 祥 太 郎
小倉市九州製鋼株式會社社員	同	松 島 寛

入會者 (住所及職業)

大連市常盤橋大華電氣冶金公司社長	正員	上 島 慶 篤
京都市吉田町京都帝國大學寄宿舎	同	横 山 忠 一
長崎市三菱長崎製鋼所員	准員	野 澤 一 郁
大阪市外今宮町府立今宮職工學校教員	同	堀 内 敏

◎轉居

前號報告後轉居者の新住所左の如し。

東京市外下大崎町袖ヶ崎一九八
 東京市日本橋區濱町二ノ十二、本間方
 東京市本郷區菊坂町三九、柳田方
 東京市本郷區駒込千駄木町二三六、大野方
 吳市吳水交社
 名古屋市熱田名古屋逓信局海事部
 新潟縣北蒲原郡新發田町製鐵所出張所
 福岡市外馬出寺中高田方
 若松市外廣田製鋼所
 東京市芝區若塚町十八
 名古屋市外千種町字高見三七
 東京市丸ノ内久原鐵業株式會社
 東京府荏原郡入新井町山王二六八八
 大阪府西成郡中津村下三番一七一
 南滿洲鞍山大正通十一ノ五〇三ノ八
 富山縣西礪波郡福光町廣岡方
 名古屋市三葵内燃機製造會社名古屋工場
 長野市長野工業學校
 大阪府西成郡玉出町五五〇森松園
 廣島縣安藝郡仁保村日本製鋼所廣島工場
 北海道夕張鹿ヶ谷新夕張礦
 東京府下中野町字打越一九六六
 北海道室蘭區字母戀日本製鋼所購買組合
 東京府荏原郡大井町字五三三八
 東京府下中野町鍋屋横町三八五一生越方
 横濱市大野町二浦賀船渠横濱工場
 横濱市大野町二浦賀船渠横濱工場
 東京中外高田町雜司ヶ谷六九六

有賀重次
 本間駒吉
 新井清二
 木場徳三
 土屋行藏
 加藤成一
 米田安平
 荒木彬
 平野二郎
 伊手喜録
 森彦三
 竹内維彦
 大木治吉
 岡山貞吉
 吉村庄太郎
 田中元次郎
 石澤命知
 原田正一
 淺野貞次郎
 今野新一
 正野崎照馬
 遠藤隆太
 柏塚淺一
 桂小又
 雨宮良直
 上村行榮
 増田喜太郎
 大野宗平

大阪市曾根崎上三ノ一五五、エンジニアリング社
 大阪市外中津町廣谷製鋼所

◎圖書寄贈

大正九年十一月十日落合畝三郎氏より左の圖書を寄贈せられたり。

一、製鐵研究會記事 自明治四十四年度分 至大正六年度分 製本 全七卷

◎大正九年度會員名簿正誤

頁	行	段	誤	正
一	五	四	芝二八六〇	高輪七七八
三	九	一	幸治郎	幸次郎
八三	九	一	三郎	三郎
八六	二	一	東京市	東京府
九五	一〇	一	藤本	藤谷
一〇五	七	一	電氣製鐵	日本鋼管
一一五	一	一	齊藤	齊藤